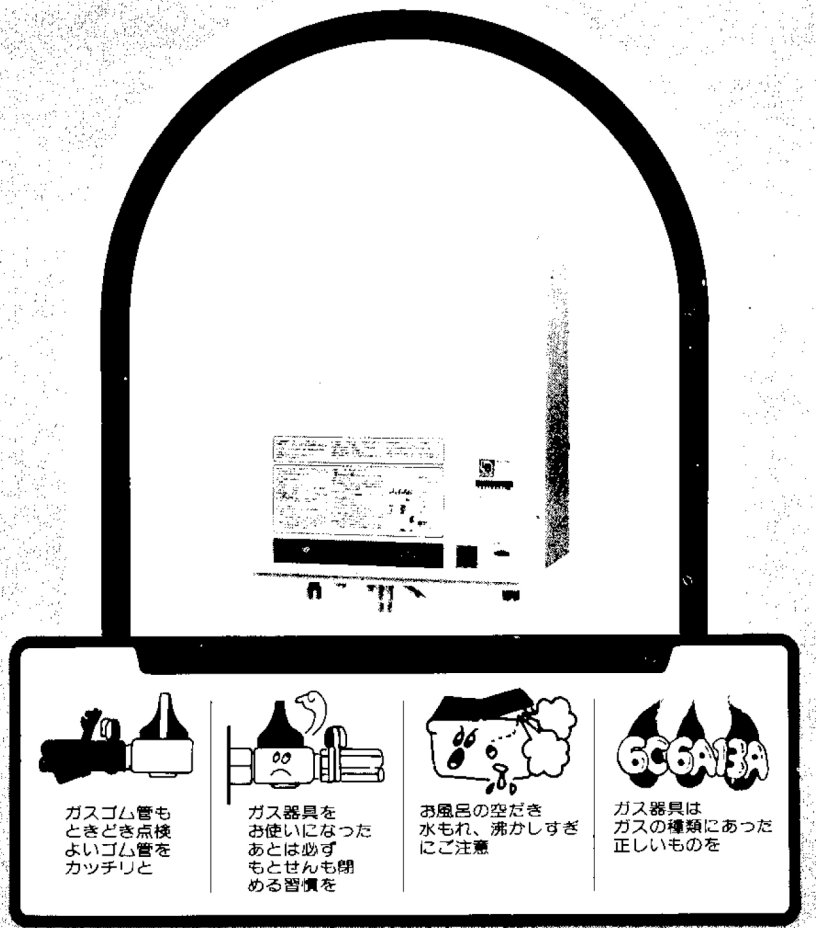
大阪ガス

ガス追焚機能付湯沸器
取扱説明書　31−085型

保証書付

型式名　GT-1600FF



●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス追焚機能付湯沸器をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

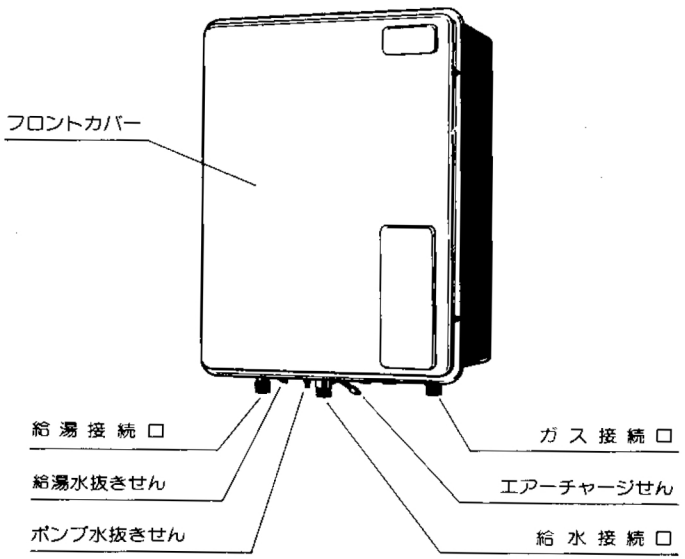
もくじ

- 各部の名称……2
- 特に注意していただきたいこと……4
- 器具の設置……8
- 使用手順……9
- 使用時のご注意……18
- 日常の点検・手入れ……19
- 故障異常の見分け方と処置方法……20
- 長期間使用しない場合……20
- アフターサービスのお申し込み……21
- 特　　長……22
- 寸法図と仕様一覧表……23
- 本製品と快適なくらしのために……26

各部の名称

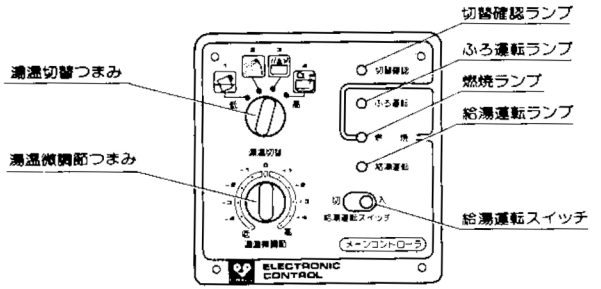
■ 外　観

31－085型

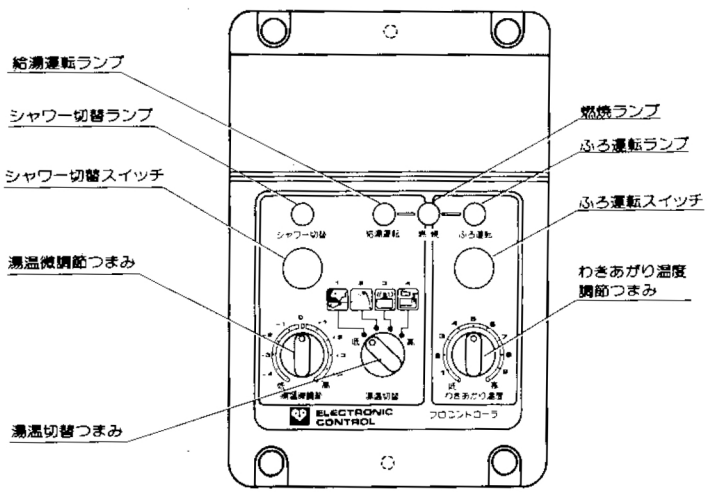


●操作部の名称

メーンコントローラ



フロコントローラ

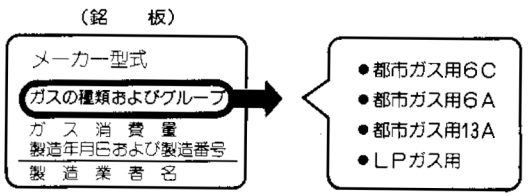


特に注意していただきたい

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の前面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



●ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

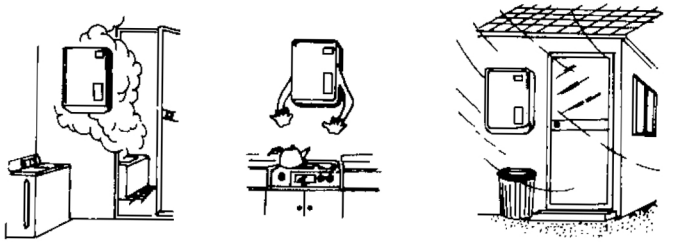
●電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はＡＣ100Ｖ、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

●給湯及びシャワー及び風呂の追焚き以外の用途には使用しないでください。

使用場所についてのご注意

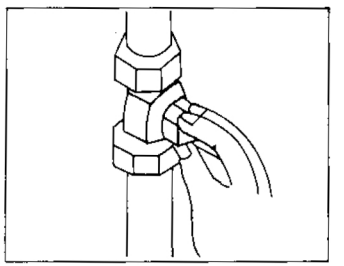
●器　具
1.屋内設置専用の器具です。屋外には絶対設置しないでください。
2.特殊薬品(アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類等)やその蒸気がかからない所に設置してください。
3.ガスレンジやコンロなどの燃焼器具の上には設置しないでください。
4.家具、壁その他の可燃材から十分離れている場所で使用してください。



使用上のご注意

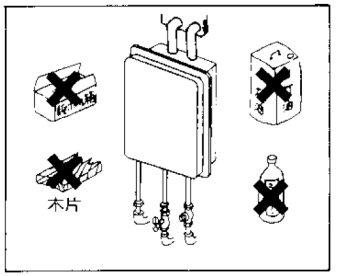
ガス漏れ予防

●器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ずガス元せんをしめてください。



●使用後は必ずメーンコントローラの運転スイッチを切り、消火したことを確かめてください。
●使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。

火災予防

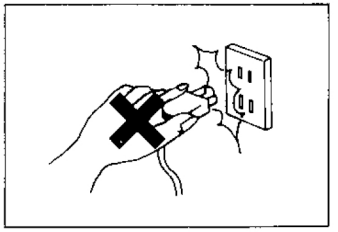


- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、器具本体と排気トップは熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。

ガス事故防止



- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップに連絡してください。

〈ご注意〉
万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等）火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

凍結についてのご注意

厳寒期には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯せんから水を流し放しにするか、器具の中の水を抜くなどして凍結を防止してください。
（器具の中の水を抜く方法については、15～16ページを参照）

- 凍結したときは
  ①器具や配管が、破損し、高額の修理費がかかる場合があります。
  ②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。
  凍結が溶けた後、水もれがないのをご確認の上ご使用ください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、ガス元せん閉止）して十分な点検をお願いします。

〔故障異常の見分け方と処置方法については20ページをお読みください〕

雷雨時のご注意

- この器具には、電線からの誘導雷等の異常電圧を吸収し、器具を保護する雷サージ吸収装置（ＺＮＲ）を備えていますが、直撃雷については電気器具全般に問題がありますので、近くで雷の音が聞えてきたときは、電気部品の破損を防止するため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
（電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください。）

あと洗きについてのご注意

- 継続してお使いになるとき、最初に出るお湯は特に熱くなることがありますので、少し出してから、手をふれるようにしてください。

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。（詳しくは19ページをお読みください）
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

設置上のご注意

●正しく設置されているかどうか、工事説明書を参照の上お客様自身でご確認してください。

給水・給湯・電気の接続

●給水・給湯・電気の接続工事は専門の工事業者におまかせください。

ガス管の接続

●鉄管接続になっていますので、大阪ガスにご相談ください。

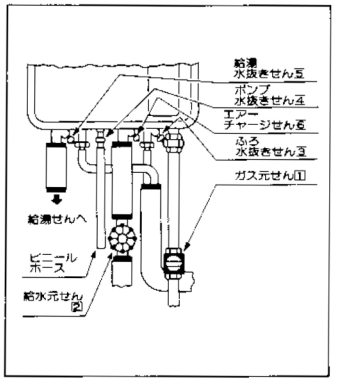
アースの接続

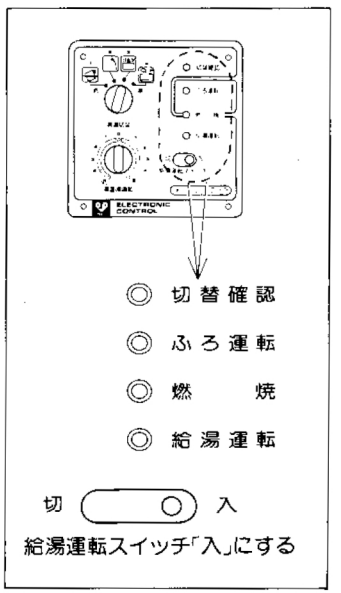
●水道管およびガス管にはアース接続しないでください。

給排気トップ・給排気管の接続

●給排気トップ、給排気管の接続工事は専門の工事業者におまかせください。

使用手順





■点火前の準備と確認

(1)給水元せん2を開き、すべての給湯せんから水の出てくることを確認してください。また、水抜きせん3 4 5、エアーチャージせん6が確実にしまっているか確認してください。

(2)ポンプ水抜きせん4に接続しているビニールホースを給湯水抜きせん5に接続し、ポンプ水抜きせん4及び給湯水抜きせん5を左に回してあけポンプに呼水を入れてください。（ふろ水抜きせん3をあけておき、ここから水が出るまで）その後ふろ水抜きせん3ポンプ水抜きせん4給湯水抜きせん5を右に回してしめてください。

(3)ガス元せん1を開いてください。

(4)電源プラグをコンセントに差し込んでください。

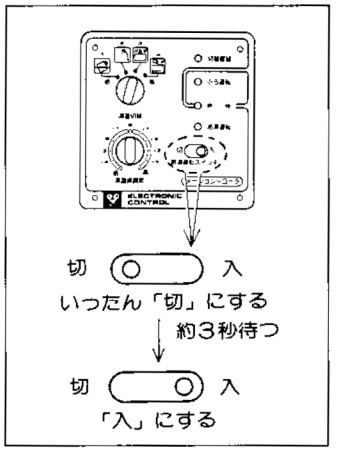
■点　火

(1)点火

●メーンコントローラの給湯運転スイッチを「入」側にしてください。給湯運転ランプと切替確認ランプが点灯します。切替確認ランプが点灯していないときはフロコントローラのシャワー切替スイッチを押してください。

●お湯を使用する場所の給湯せんをあけると自動的にバーナーに点火してお湯が出てきます。
この時、燃焼ランプが点灯します。

※この器具はダイレクト点火方式の採用によりたね火をなくし、給湯せんの開閉で直接メーンバーナーの点火・消火を行ないます。

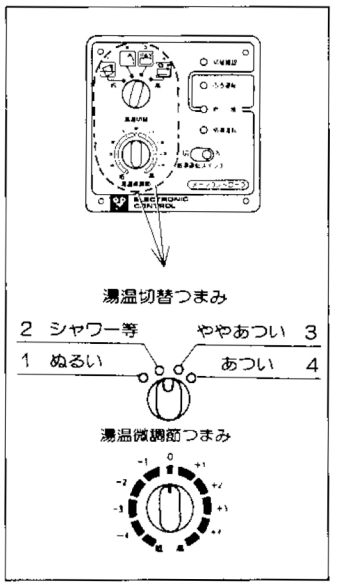


（注意）

初めて使う場合は、ガス配管途中に空気がたまっていますので、すぐに点火せず安全動作に入ることがあります。このときは、燃焼ランプが点滅しますので、給湯せんをしめてから運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。

⑵再点火

運転スイッチを「切」にした後、すぐ使用される場合は３秒程待ってから運転スイッチを「入」にしてください。



■湯温調節

- 湯温切替つまみを右へまわすと高温になり、左へまわすと低温になります。出湯温度はこのつまみで大きく４段階に分けて選択できます。
  用途によりつまみを合わせてください。
- 湯温微調節つまみをまわすことにより、左記の４段階ごとに出湯温度の微調節ができます。

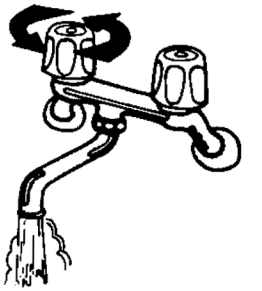
湯温切替つまみ、湯温微調節つまみと出湯温度のめやす

単位 ℃

湯温切替つまみ	湯温微調節つまみ
	低 ～ 0 ～ 高
1ぬ る い	36 ～ 41 ～ 47
2シャワー等	38 ～ 43 ～ 49
3ややあつい	43 ～ 48 ～ 55
4あ つ い	59 ～ 68 ～ 80

上記表より湯温切替つまみ「シャワー等」、湯温微調節つまみ「0」位置での出湯温度は約43℃です。

給湯せんをあける

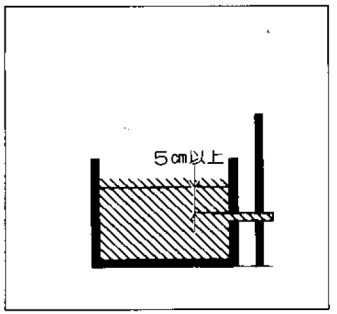


- メーンコントローラで湯温調節するとき
  メーンコントローラの切替確認ランプが点灯していることを確認してから湯温調節してください。点灯していないときはフロコントローラのシャワー切替スイッチを押せば点灯します。
- フロコントローラで湯温調節するとき
  フロコントローラのシャワー切替ランプが点灯していることを確認してから湯温調節してください。点灯していないときは、シャワー切替スイッチを押せば点灯します。
- 湯温調節機能の切替はフロコントローラのシャワー切替スイッチの押し操作でできます。（メーンコントローラでは切替できません。）
- シャワー使用後はシャワー切替スイッチを押しメーンコントローラに湯温調節機能を切替えておいてください。

■給　湯

- お湯を使用する場所の給湯せんをあけ、混合水せんにより、湯と水を混合し、必要な湯温と湯量を調節してください。給湯せんを絞りすぎますとバーナーの火が消えることがありますのでご注意ください。
  ※同時に２ヶ所（例えば台所と洗面所等）でお湯を出すことはできますが、それぞれの出湯量は減ることがあります。シャワー使用時は同時使用をできるだけさけてください。
  ※単独水せんの場合は湯温調節つまみにより湯温を調節してください。

使用手順④

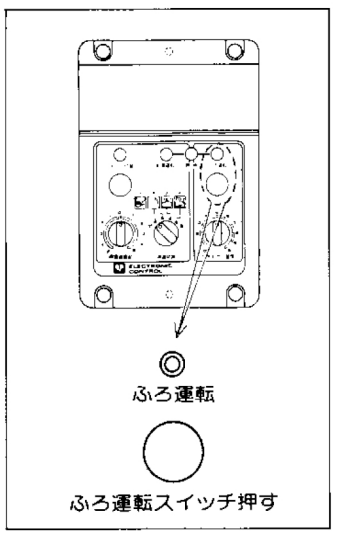


■風呂の追いだき前の準備

- 浴そうのお湯がぬるい場合、次の要領で風呂を沸かしてください。
  （浴そうへ水を入れてから沸かす場合は給湯で落し込むより時間が長くかかります。）
- 点火の前に浴そうに湯（又は水）が十分満たされていることを確認してください。

※浴そうの排水せんは水漏れのないようにしっかり差し込んでください。

※循環口より水位が高くないとふろ運転ができません。

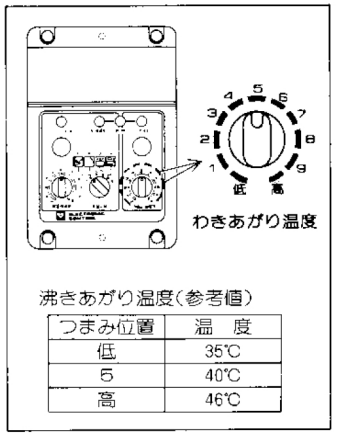


■風呂点火

- フロコントローラのふろ運転スイッチを押してください。ふろ運転ランプが点灯します。自動的にバーナーに点火して、浴そうの水の循環及び加熱が始まります。この時、燃焼ランプが点灯します。
- 燃焼ランプが点灯しない場合はポンプの呼水不足の場合がありますのでいったんふろ運転スイッチを押して切り、9ページの■点火前の準備と確認の項を参照してポンプに呼水を入れた後、再度ふろ運転スイッチを押してください。

注1）ふろ使用中に給湯せんをあけますと、浴そうの水の循環が止まります。この時ふろ運転スイッチは点灯しています。給湯せんを閉じますと自動的に浴そうの水の循環が始まり、バーナーはいったん消火後すぐに点火して風呂の追焚きを続けます。

注2）ふろ使用を停止した後、循環ポンプは、約30秒してから停止します。

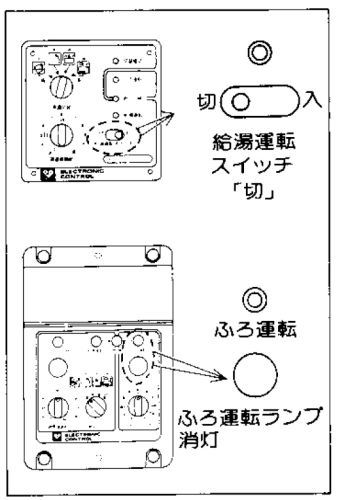


■風呂の沸きあがり温度調節

- フロコントローラの沸きあがり温度調節つまみを右へまわすとあつく、左へまわすとぬるく沸きあがります。
  設定温度まで沸きあがりますと、自動的に運転が停止し、燃焼ランプが消灯しますがふろ運転ランプは点灯しています。
  再度ふろを沸かす場合は、いったんふろ運転スイッチを押し、再度ふろ運転スイッチを押してください。

沸きあがり温度（参考値）

つまみ位置	温　度
低	35℃
5	40℃
高	46℃



■消　火

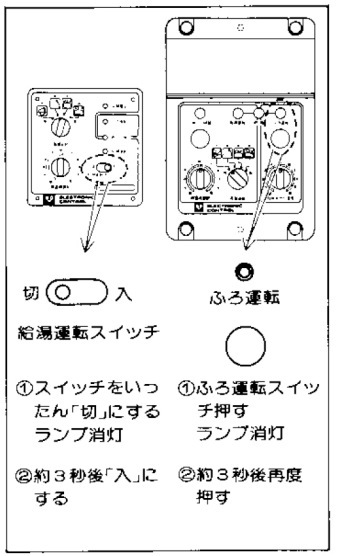
- 就寝前にはメーンコントローラの給湯運転スイッチを「切」にしてください。また、フロコントローラのふろ運転ランプが消灯していることを確認してください。
- 長時間使用しない場合はガスの元せんもしめてください。

■停電後の使用方法

- 使用をいったん中止し、通電再開後、9ページ■点火前の準備と確認の項以下の操作を行なってください。

※この器具は電気で作動しますので、停電中は使用できません。

使用手順⑥



■ランプ点滅時

●初めて使う場合にガス配管内に空気が溜っていて点火しなかったり、使用中に火が消えますと、両方のコントローラの燃焼ランプが点滅します。この時は運転しているコントローラの運転スイッチをいったん切り（給湯とふろの両方のコントローラの運転スイッチが入っている場合は両方共）再度運転スイッチを「入」にしてください。
この操作を数回くり返しても点滅する時はお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

冬期の凍結による湯沸器の破損防止について

冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

⑴低温作動ヒーター

●この器具には、外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒーターを組込んでいます。

●この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなります。

※配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻きつけてください。

使用手順⑦

⑵通水による凍結防止方法

「この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。ただし、浴そうへの追だき配管には効果がありませんので、追だき配管の露出部には保温材を巻きつけるかして十分に保温してください。

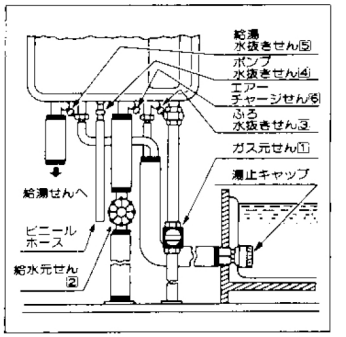
１．ガスの元せんをしめます。
２．運転スイッチを「切」にします。
３．お風呂場の給湯せんをあけ１分間に約200cc（牛乳ビン１本ぐらい）〔特に寒い日は多目に〕を浴そうに流し込んでください。

※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。水を浴そうに流し込み、翌日雑用水としてご利用ください。
（一晩で浴そう一杯程度になります。）

⑶器具内の水を抜き凍結を防止する方法

「入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください、ふろ側から先に行なってください。

〔ふろ側〕



①浴そうの水を排水してください。

②〈１階に浴室がある場合〉
フロコントローラのふろ運転スイッチを押して（ふろ運転ランプ点灯）、湯止めキャップより水が出ることを確認してください。５分程度で運転はとまります。
〈２階に浴室がある場合〉
ふろ水抜きせん③を左に回してあけた後、ふろ運転スイッチを押し、ふろ水が出てくることを確認してください。

③排水が完了後、ふろ運転スイッチを押し、ふろ運転ランプの消灯を確認してください。

④ガス元せん①をしめてください。

⑤ポンプ水抜きせん④をあけてください。

※水抜きを行なった後は浴そうに水を流しこまないでください。

〔給湯側〕

⑥メーンコントローラの給湯運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。

⑦給水元せん[2]をしめる。

⑧すべての給湯せんを全開にする。

⑨給湯水抜きせん[5]を左に回してあける。

⑩エアーチャージせん[6]を左に回してあける。

- 以上の操作で器具内の水は排水されますので、ポンプ水抜きせん[4]と給湯水抜きせん[5]より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- 再度使用されるときは、次の方法で行なってください。

〔給湯側〕

①給湯水抜きせん[5]、エアーチャージせん[6]およびすべての給湯せんをしめる。

②給水元せん[2]をあけてすべての給湯せんから水が出るのを確認してください。

〔ふろ側〕

③ポンプ水抜きせん[4]に接続されているビニールホースの先端を給湯水抜きせん[5]に接続し、給湯水抜きせんよりポンプに呼水を入れてください。(約600cc)ふろ水抜きせん[3]から水が出るまで入れてください。

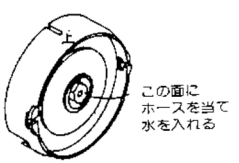
④ポンプ水抜きせん[4]、給湯水抜きせん[5]、ふろ水抜きせん[3]をしめてください。

⑤浴そうに水を入れてください。

⑥ガス元せん[1]をあけ、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⑦ふろ運転スイッチを押すと、湯止めキャップより気泡が出た後、正常になり燃焼ランプが点灯します。(気泡が出てこない場合は、ポンプ水抜きせん[4]よりもう少し水を入れてから、ふろ運転スイッチを押してください。)

- 以上の操作を行なってからご使用ください。
- ポンプへの呼水の入れ方は次の方法でも可能です。
  フィルターキャップとフィルターを取外しフロアダプターの中心にホースを当て充分水を入れてください。(右図)



現場施工の状態により、(1)と(3)の方法では、配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

使用手順⑨

凍結したとき

①湯沸器や配管が破損しますと高額の修理費がかかる場合があります。(有償)

②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
凍結したまま使われますと、湯沸器に異常が生じる場合があります。

③再使用の場合は、全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、9ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

使用時のご注意

(1)安全装置が作動したときの処置方法

■バーナー安全装置(フレームロッド)

●使用中に万一、バーナーの炎が消えたときには、安全装置が働いてガス通路を閉じます。この場合は燃焼ランプが点滅しますので給湯せんを閉めてから運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから再度「入」にしてください。

■過熱防止装置（温度ヒューズ）

●使用中に器具に異常が生じ、器具内の温度が異常に上昇したとき、装置が働きガス通路を閉じて、バーナーの炎が消えます。

●この装置が働くと部品交換をしないと使用できませんので、ガス元せん・給水元せんを閉め、メーンコントローラの運転スイッチを切ってからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

■残火安全装置(ハイリミットスイッチ)

●万一、熱交換器内が空焚状態、または異常温度となった場合に作動し、ガス通路を閉じてメーンバーナーの炎が消えます。

●この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを閉め、メーンコントローラの運転スイッチを切ってからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

●燃焼ランプが点滅している時は、いったん運転スイッチを「切」にして、しばらくしてから「入」にしてください。

●再び燃焼ランプが点滅する場合は運転スイッチを「切」にしてからガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

■漏電安全装置

●使用中に器具に異常が生じ、漏電安全装置が働くと運転ランプ及び燃焼ランプが消えます。このとき電源プラグをいったん抜き、再度差し込んでください。また、この装置が頻繁に作動する場合は器具の点検が必要です。

使用時の一般的な注意事項

●冬期、排気部から湯気のでることがありますが異常ではありません。
（これは人のはく息が白くなるのと同じ現象です。）

日常の点検・手入れ

点検･手入れの際のご注意

●点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。

●点検で異常を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。

●点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。

●安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

点　検

●安全にお使いいただくためにときどき点検してください。

●器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいてはいませんか。

お 手 入 れ

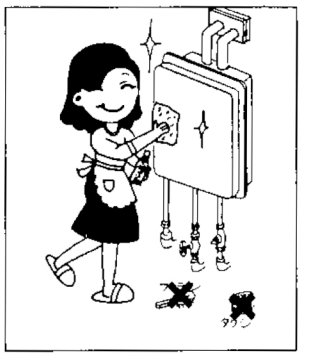
●外装の掃除
やわらかい布に中性洗剤をひたし、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）

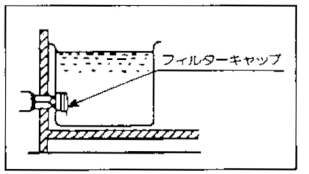
とき

●フロアダクターのフィルター掃除
浴そう内のフィルターキャップを外し、内部のフィルターを時々、掃除してください。

どき

［フィルターキャップは「上」とマークのある方を上にしてください。］





故障異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 ＼ 原因	点火しない：運転ランプが点灯しない	点火しない：燃焼ランプが点灯しない	点火しない：燃焼ランプが点滅する	使用中に消火する	炎が安定しない	黄火で燃える	高温のお湯が出ない	低温のお湯が出ない	風呂の沸きあがりが遅い	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開き忘れ			○							ガス元せんを全開にする	
ガス元せんの開き不足			○	○			○		○	ガス元せんを全開にする	
ガス管の中に空気が残っている			○								10
ガス圧が適切でない			○	○	○	○	○			※	
電源プラグが抜けている	○			○						コンセントにしっかり差し込む	
漏電安全装置の作動	○									電源プラグをコンセントから抜く、再度入れる。又は元のブレーカを切り再度入れる。	18
停電している	○			○						使用をいったん中止する	
安全装置の作動			○	○						※	
バーナー炎口づまり			○		○	○				※	
出湯量が多すぎる							○			給湯せんを少し絞る	
湯温調節機能を切替えていない							○	○			10
給水元せんの開き不足		○								給水元せんを全開で使う	
給水元せんの開き忘れ		○								給水元せんを全開で使う	
湯温調節が適切でない							○	○			10
ふろ循環ポンプの呼水不足		○							○		9
浴そうフィルターのつまり		○		○					○		19

なお※印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。
（器具の中の水を抜く方法については15～16ページをお読みください）

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 20ページ「故障異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
  - ① 品　名……（ガス追焚機能付湯沸器）
  - ② 品　番……ガス接続口の近くに貼付してあります。

（例）

4 31-085 U
大阪ガス株式会社 08

  - ③ 現　象……（できるだけ詳しく）
  - ④ 道　順……（できるだけ詳しく）

転居される場合

- **ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。**
  ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
  この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- **この器具には保証書がついています。**
  このガス追焚機能付湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　長

1 薄型コンパクトなセットフリータイプで浴室と器具の設置が自由に選べます。又強制追焚機能付きで、風呂効率平均75%の高効率を発揮、湯温は設定温度で自動ストップし沸かしすぎもありません。

2 この湯沸器は、１台で数ケ所に給湯できる**セントラルタイプ**ですので、取付けた所だけでなくなれた所でも、給湯せんを操作するだけでお湯が使えます。

3 使用目的によって3.5号から16.5号までの能力切替えが可能です。同一設定温度で出湯量を変えても適量適温のお湯をお使いいただけます。（ただし給湯能力の範囲内）

4 高密度燃焼により熱効率81%に維持し、しかもお湯の必要なときだけ点火するダイレクト点火方式でガスのムダを省きました。

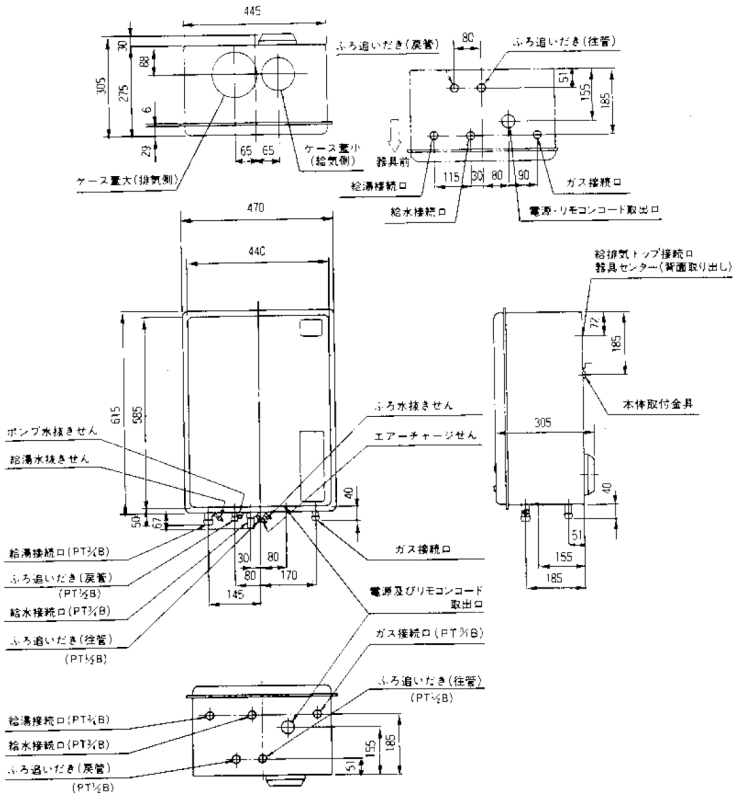
5 操作はメーンコントローラの運転スイッチを入れるだけ、あとは給湯せんをひねるだけでお湯がご使用になれます。

6 室内の空気を使用しない強制給排気方式ですから、お部屋の空気を使わず、清潔です。

寸法図と仕様一覧表

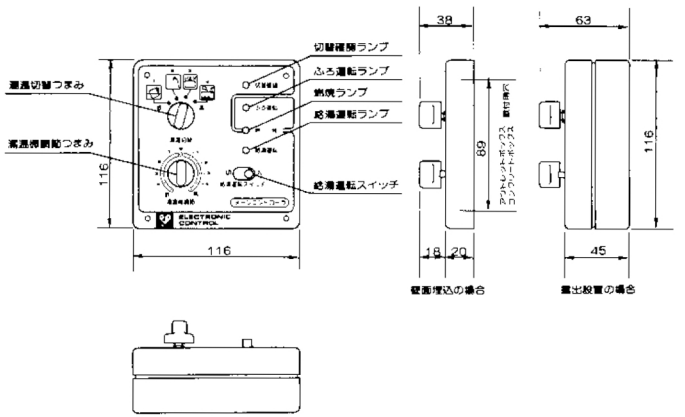
● 器具本体（31－085型）

器具上方よりの透視図

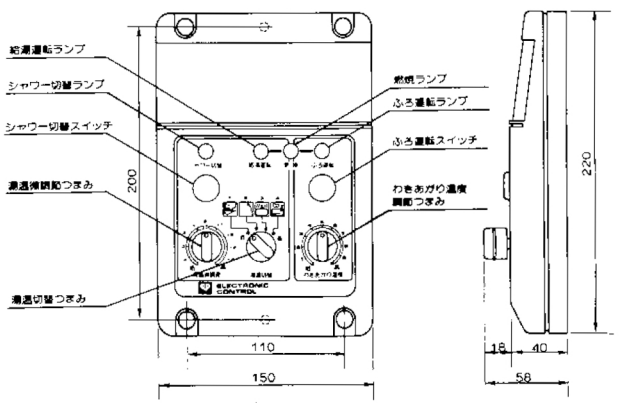


寸法図と仕様一覧表②

●メーンコントローラ



●フロコントローラ



寸法図と仕様一覧表③

仕　様　一　覧　表

項目＼種別		31－085型	
		都市ガス6C	都市ガス13A
ガス消費量 (Kcal/h)	給湯	30500	30500
	風呂	12000	12000
外形寸法 (mm)		高さ615×幅470×奥行275	
重量 (kg)		39	
接続	ガス	PT3/4B	
	給水	PT3/4B	
	給湯	PT3/4B	
	風呂入水	PT1/2B	
	風呂出湯	PT1/2B	
	電気	AC100V、60Hz	
電気消費量 (W)		220　(低温作動ヒーターは120W)	
点火方式		連続スパークによるダイレクト点火	
最低作動水圧 (kg/cm²)		0.3	
安全装置		バーナー安全装置、過熱防止装置 残火安全装置、低温作動ヒーター 過圧逃し弁、空だき防止装置 漏電安全装置	

出湯能力（能力最大）（ℓ/分）

ガス種別＼上昇温度	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
6C	(16.5)	10.3
13A	(16.5)	10.3

※（　　）内の出湯能力は計算値です。